

平成25年度 第1回芦屋市市民参画協働推進会議 会議録

日 時	平成26年3月27日(木) 午後1時25分～午後3時30分
場 所	北館2階第3会議室
参 加 者	会 長 今川 晃 副会長 井上 芳恵 委 員 焦 従 勉 <small>じゅお つおんみいせん</small> 瀬尾 多嘉子 中野 久美子 堀 晃二 菅沼 久美子 池内 清
事 務 局	事務局 米原 登己子 企画部長 福島 貴美 市民参画課長 中寫 健太 市民参画課課長補佐 宮本 茂樹 市民参画課課員 佐藤 恵美 市民参画課課員 人羅 亜矢子 あしや市民活動センター事務局員
会議の公表	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 部分公開
傍 聴 者	0 人

1 会議次第

- (1) 委嘱状交付
- (2) 市長あいさつ
- (3) 自己紹介
- (4) 第1回会議
  - 会長及び副会長選出
  - 説明及び審議
    - ア 芦屋市市民参画協働推進計画の進行状況
      - (ア)平成24年度市民参画の手続きの公表について
      - (イ)平成25年度市民参画の手続きの公表(予定)について
    - イ 平成25年度の取組
      - (ア)平成25年度地域の課題解決の仕組みづくり報告書
      - (イ)平成25年度地域のボランティアコーディネーター養成講座報告書
    - ウ 「第2次芦屋市市民参画協働推進計画」の策定について
    - エ あしや市民活動センター実績報告
- (5) 今後の予定
- (6) 閉会

2 配布資料

- (1) 第1回 芦屋市市民参画協働推進会議レジュメ
- (2) 「芦屋市市民参画協働推進会議」委員名簿
- (3) 平成24年度市民参画の手続きの結果報告
- (4) 市民参画の手続きの実施予定の公表(平成25年度)

- (5) 平成25年度地域の課題解決の仕組みづくり報告書
- (6) 平成25年度地域のボランティアコーディネーター養成講座報告書
- (7) 平成26年度 中・長期計画の策定スケジュール
- (8) 平成25年度 あしや市民活動センターの管理業務に関する事業報告書

### 3 審議経過

#### <開会>

事務局より挨拶

委嘱状の交付

市長挨拶

委員及び事務局の紹介

市長公務のため退席

事務局より会議運営上の取決め事項を次のとおり説明

- ・委員全員が出席のため、本会は成立する。
- ・会議録作成のため、録音を実施することについて了解いただきたい。
- ・「芦屋市附属機関等の設置に関する指針」により、委員名簿、会議録及び会議中の発言者名について公開となる。
- ・会議の内容は、発言者が特定できるように会議録を作成し、ホームページへ掲載する。

会長、副会長の選出

- ・会長に今川委員、副会長に井上委員を選出

会長及び副会長より挨拶

#### <議事>

**今川会長** それでは、早速議事入りしたいと思います。次第にしたがいまして、まず4の第1回会議(2)説明及び審議を事務局から説明お願いします。

**福島課長** ア 芦屋市市民参画協働推進計画の進行状況(ア)平成24年度市民参画の手続きの公表についてについて説明

**今川会長** 以上ご説明を頂きましたが、何かご質問やご意見はございますでしょうか。

**福島課長** (イ)平成25年度市民参画の手続きの公表(予定)について説明

**今川会長** 平成25年度の説明をして頂きましたが、何かご質問やご意見ございましたらお願いいたします。

**井上副会長** 25年度はまだ残っていますが、年度が終わったら24年度と同じようにまとめられるということでしょうか。

**福島課長** 取りまとめまして、市のホームページと6月15日号の広報で公表する予定として  
います。

**井上副会長** 参画と協働に、成果や変化は見られるでしょうか。

**福島課長** パブリックコメントですが、市民の方が関心のありそうなものについては、たくさん意見をいただくのですが、関心のなさそうなものは意見が少なく、二極分離しています。

**今川会長** ほかに何か意見、ご質問はございますか。よろしいですか。それでは、イ 平成25年度の取り組みの（ア）平成25年度地域の課題解決の仕組みづくり報告書、及び（イ）平成25年度地域のボランティアコーディネーター養成講座報告書の説明を事務局からお願いします。

**福島課長** （ア）平成25年度地域の課題解決の仕組みづくり報告書、（イ）平成25年度地域のボランティアコーディネーター養成講座報告書について説明

**今川会長** ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

**今川会長** 地域ひろばは毎回同じ方が参加されるのですか。

**福島課長** 市民参画課主催で行いまして、市からの課題がある場合は、担当の課長が出席して説明します。

**米原部長** まだ3ブロックで一回ずつしかやっていないので、継続していくと行政側がいなくてもできるのではないかと考えています。

**池内委員** 地域のボランティアコーディネーター講座を卒業した人はどのような活動をしているのでしょうか。

**福島課長** 堀委員は卒業生でございまして、地域ひろばで司会・進行をいただいています。将来的には、市民主催で地域ひろばを行い、意見を取りまとめて、地域の課題を解決できるようになればと思っています。

**焦委員** 地域の課題というのは、どういうところから出てきているのでしょうか。

**福島課長** 市民参画課は自治会連合会の事務局をしていますので、自治会から課題が上がってきたり、あしや市民活動センターに寄せられた意見や相談を地域で解決していきたいと考え

ています。

**米原部長** 地域ひろばの前に、ブロックの自治会長に集まっておいただき事前会議をしています。そこで、課題を決めております。

**今川会長** ほかにご意見・ご質問ございませんか。

**瀬尾委員** 社会福祉協議会でも、小地域ブロック会議という、似たような会議があります。

**福島課長** 地域ひろばは、事前に庁内で調整をした上で開催しています。地域ひろばは、自治会やNPOがどうすれば地域の課題を解決できるかを話し合う場です。

**堀委員** 先ほど、地域の課題はどこからでてくるのかという質問がありましたが、芦屋市では春に集会所トーク、秋に自治会連合会主催のまちづくり懇談会があり、市の幹部と市民が話し合う場があります。そこから課題が出てきたり、年間で20回開催している三役会の中で課題がでてきたり、市民参画課の窓口で課題が寄せられたりしています。

**菅沼委員** 配布資料の中に、個別の問題になりますが、或る自治会では古くからの住民同士の付き合いがあり、今さらつながりを持ってと言われてもむずかしいという報告がありました。自治会の役員の方々は色々なお世話で大変だと思えますが、今後も新しく転入してきた人とのつながりに関心を寄せていただき、次代を担う人材を発掘していただきたいと思えます。

**今村委員** 自治会に加入していない人の情報は把握できているのでしょうか。

**堀委員** 把握できていません。芦屋市の自治会加入率は約70パーセントで、30パーセントの方の把握はできていないということです。

**福島課長** 地域ひろばだけでは解決できない課題は、まちづくり懇談会の一般枠で質問として出させていただければと考えています。

**堀委員** 地域ひろばをしていて分かってきたことは、南側の人は津波対策に関心が高いです。北側の人は坂が多いので、近くに集会所がほしいという意見がありました。

**井上副会長** 地域ひろばの今後の開催の予定はどうなっていますか。

**福島課長** 残り10ブロックはこれからです。調整をしながら進めていきます。全体の意見や傾向を取りまとめた上で、2回目に進んでいこうと考えています。

**池内委員** 地域ひろばで出ている課題は、地域から出ている課題のみですか。

**福島課長** 今までの3ブロックで地域から出た課題は2 Bブロックの居場所づくりのみです。  
あとは、市からの課題です。

**池内委員** ブロックのトップが話し合うだけではなく、ボトムアップで地域の課題を出すべきだと思います。

**福島課長** 事前説明会を開き、自治会やNPOに地域ひろばについて説明し、課題について調整してもらっています。

**堀委員** 5ブロックでは、集会所トークやまちづくり懇談会で課題を出して、解決したり、進行中ですので、地域ひろばでは課題は出ませんでした。

**菅沼委員** 堀委員がお話しされたように、山側と海側では課題が全然違っています。山方面と、中央の市街地、海方面の3つぐらいに分けたほうが、お互いの課題が明確になると思います。同時に課題が共有されることによって地域で横のつながりが深まるのではないのでしょうか。

**福島課長** 組み合わせを変えることはできますので、参考にさせていただきます。

**中野委員** 予想されていたより出席者は多いのでしょうか。

**福島課長** はい、多かったです。

**中野委員** 社協では、小地域ブロック会議をやっているのですが、回数も参加者も減ってきました。地域ひろばと小地域ブロック会議は、上手く連携がとれないのでしょうか。小地域ブロック会議は、テーマが同じでマンネリ化しています。母体が違うと言われればそれまでなのですが。

**福島課長** 市民の皆さんの負担を減らすことができればと思っております。

**今川会長** 期待していたけど参加してくれなかった団体はありますか。

**福島課長** 自治会の方や、推薦のNPOに参加してもらっています。事前に調整していますので、ありません。

**堀委員** 六麓荘町は、要援護者がゼロですね。自分で解決できる準備ができているということですかね。

**菅沼委員** 六麓荘町のように比較的富裕層が多く住むといわれる地域では自助が多いのでしょうか。一般的な支援を求める形とは違うかもしれませんが、参考になるのではないのでしょうか。失礼でなければ教えていただきたいですね。ただ半面、助けられ上手・助け上手という言葉をよく聞きます。本音で支援を求められる関係がとても大切だと思います。

**福島課長** 自治会に入りたくないという人もいるが、災害のときは助けてほしいという人もいます。早くから自治会に入ってほしいと考えています。

**井上副会長** ボランティアコーディネーター養成講座の卒業生は何人ぐらいでしょうか。

**福島課長** 平成25年度は82人です。

**井上副会長** 卒業生に期待することはありますか。

**福島課長** 市民活動センターで行っている講座などで、司会デビューをしていただきたいと考えています。

**井上副会長** 自治会に入っていない人は、どのように関わればいいのでしょうか。

**福島課長** まちづくり懇談会の一般枠で質問していただきます。自治会への加入も促進していきます。

**井上副会長** 市域全体のまちづくりについて、意見交換の場を設けているところもあります。新しく転入した人や、若い世代を無作為抽出して参加してもらおうようにしてはどうでしょうか。参加することがきっかけで、まちづくりに関心を持ってもらえるようになると思います。

**福島課長** 同じようなメンバーが多いです。新しい方に参加してもらうには、継続的な取り組みが必要だと思います。

**堀会長** 自治会に入っていない人など市民からの要望は、お困りです課に年間5000件届いています。

**今川会長** 集会所トークは今年で何回目ですか。

**米原部長** 今年で11回目になります。だいたい一つの会場で20人ぐらいで、参加者は固定されがちです。お勤めの方も出られるように、19時30分からにしていて、問題意識を持っている人が参加されています。

今川会長 ボランティアコーディネーター養成講座は誰でも受けられるのですか。

福島課長 芦屋市民、芦屋市内で働いている人、活動している人なら誰でも受けられます。

焦委員 ボランティアコーディネーター養成講座を卒業後、活動しているのはどのくらいですか。

福島課長 自治会やNPOでもともと活動している人ばかりです。スキルを身に付けて、元の活動に活かしてもらっています。そういう意味では、100パーセントです。

菅沼委員 私も受講者の一人ですが、講座の情報提供が少ないのではないのでしょうか。着実に堅実に進めていただくためにもただ単に広くお知らせすればよいというものではありませんが、限定された所だけでなく地域活動などに関心を持つ一般の人にも参加できるように配慮をお願いしたいと思います。

今川会長 よろしいでしょうか。たくさんいただいた意見は参考にさせていただきます。続きまして、ウ「第2次芦屋市民参画協働推進計画」の策定についての説明を事務局からお願いします。

福島課長 ウ「第2次芦屋市民参画協働推進計画」の策定について説明

今川会長 何かご質問はありますか。なければ、続きましてエ あしや市民活動センター実績報告をお願いします。

人羅 エ あしや市民活動センター実績の報告

今川会長 何かご質問・ご意見ございますでしょうか。それでは、以上で第1回会議を終わりたいと思いますが、市民参画と協働についてどんなことでも結構ですので、ご意見・ご質問がございましたらよろしくお願いします。

池内委員 市民参画とは、市民に行政の一端を担ってもらうことです。行政は監理するだけで、実際のことは市民にやってもらう。市民は市役所に遊びにきて、職員とも仲良くなれる芦屋市であればいいと思います。自治会長だけが、動き回るのではなく一般の人に関われる仕組みができればいいと思います。

今川会長 ほかの委員の皆様はいかがですか。それでは、これで第1回芦屋市市民参画協働推進会議を終わります。ありがとうございました。

以上